

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質・性能									3.1	
Q-1 室内環境							0.40		3.2	
1 音環境									3.0	
1.1 騒音							1.4	0.15	3.3	1.00
1.1.1 暗騒音レベル							1.0	0.40	3.0	0.29
1.1.1.1 1 暗騒音レベル							1.0	1.00	3.0	1.00
1.1.1.1.1 2 設備騒音対策										
1.2 遮音							1.0	0.40	3.7	0.50
1.2.1 開口部遮音性能							1.0	1.00	3.0	0.30
1.2.1.1 1 開口部遮音性能									4.0	0.30
1.2.1.1.1 2 界壁遮音性能									4.0	0.20
1.2.1.1.1.1 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									4.0	0.20
1.2.1.1.1.1.1 4 界床遮音性能(重量衝撃源)									3.0	0.21
1.3 吸音							3.0	0.20	3.0	0.21
2 温熱環境							1.0	0.35	3.4	1.00
2.1 室温制御							-	-	3.8	0.50
2.1.1 室温設定									3.0	0.60
2.1.1.1 1 室温設定										
2.1.1.1.1 2 換気装置・温度制御性										
2.1.1.1.1.1 3 外皮性能					W				5.0	0.40
2.1.1.1.1.1.1 4 ゾーン別制御性										
2.1.1.1.1.1.1.1 5 温度・湿度制御										
2.1.1.1.1.1.1.1.1 6 個別制御										
2.1.1.1.1.1.1.1.1.1 7 時間外空室に対する配慮										
2.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1 8 監視システム										
2.2 湿度制御							1.0	1.00	3.0	0.20
2.3 空調方式							-	-	3.0	0.30
3 光・視環境							3.0	0.25	3.0	1.00
3.1 昼光利用							3.0	0.30	3.0	0.50
3.1.1 昼光率							-	-	-	-
3.1.1.1 1 昼光率									3.0	0.60
3.1.1.1.1 2 方位別開口							3.0	1.00	3.0	0.40
3.1.1.1.1.1 3 昼光利用設備					W					
3.2 グレア対策							3.0	0.30	3.0	0.50
3.2.1 曇りガラスのガラス										
3.2.1.1 1 曇りガラスのガラス							3.0	1.00	3.0	1.00
3.2.1.1.1 2 昼光制御					W					
3.3 照度							3.0	0.15	-	-
3.3.1 照度							3.0	1.00	-	-
3.3.1.1 1 照度										
3.3.1.1.1 2 照明の配置										
3.4 照明制御							3.0	0.25	-	-
4 空気環境							3.8	0.25	4.0	1.00
4.1 発生源対策							5.0	0.60	5.0	0.63
4.1.1 化学物質汚染							5.0	1.00	5.0	1.00
4.1.1.1 1 化学物質汚染										
4.1.1.1.1 2 化学物質汚染										
4.1.1.1.1.1 3 デニ・カビ等										
4.1.1.1.1.1.1 4 レジネ塗料対策										
4.2 換気							2.0	0.40	2.3	0.38
4.2.1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33
4.2.1.1 1 換気量									3.0	0.33
4.2.1.1.1 2 自然換気性能									1.0	0.33
4.2.1.1.1.1 3 取り入れ外気への配慮										
4.2.1.1.1.1.1 4 給気計画										
4.3 運用管理							-	-	-	-
4.3.1 CO ₂ の監視										
4.3.1.1 1 CO ₂ の監視										
4.3.1.1.1 2 喫煙の制御										
Q-2 サービス性能							-	0.30	-	-
1 機能性							3.0	0.40	4.5	1.00
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.60	-	-
1.1.1 広さ・収納性										
1.1.1.1 1 広さ・収納性										
1.1.1.1.1 2 高度情報通信設備対応							3.0	1.00		
1.1.1.1.1.1 3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性							3.0	0.40	4.5	1.00
1.2.1 広さ感・景観									4.0	0.50
1.2.1.1 1 広さ感・景観										
1.2.1.1.1 2 リフレッシュスペース										
1.2.1.1.1.1 3 内装計画							3.0	1.00	5.0	0.50
1.2.1.1.1.1.1 3 コンセプトを明確にバース等により事前検証										
2 耐用性・信頼性							2.7	0.31	-	-
2.1 耐震・免震							3.0	0.48	-	-
2.1.1 耐震性							3.0	0.80	-	-
2.1.1.1 1 耐震性							3.0	0.20	-	-
2.1.1.1.1 2 免震・制振性能										
2.2 部品・部材の耐用年数							2.5	0.33	-	-
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		2.0	0.29	-	-
2.2.1.1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		2.0	0.12	-	-
2.2.1.1.1 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-
2.2.1.1.1.1 3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-
2.2.1.1.1.1.1 4 主要設備機器の更新必要間隔					W					
2.3 適切な更新							-	-	-	-
2.3.1 床・天井・外壁仕上げ材の更新										
2.3.1.1 1 床・天井・外壁仕上げ材の更新										
2.3.1.1.1 2 配管・配線材の更新										
2.3.1.1.1.1 3 主要設備機器の更新										
2.4 信頼性							2.2	0.19	-	-
2.4.1 空調・換気設備							3.0	0.25	-	-
2.4.1.1 1 空調・換気設備							4.0	0.25	-	-
2.4.1.1.1 2 給排水・衛生設備							1.0	0.25	-	-
2.4.1.1.1.1 3 電気設備							-	-	-	-
2.4.1.1.1.1.1 4 機械・配管支持方法							1.0	0.25	-	-
2.4.1.1.1.1.1.1 5 通信・情報設備										
2.4.1.1.1.1.1.1.1 5 節水型器具の採用										

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					2.6	0.29	5.0	1.00	4.6
3.1 空間のゆとり									
1 階高のゆとり				階高3.0m以上を確保			5.0	1.00	
2 空間の形状・自由さ							5.0	1.00	
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性					2.6	1.00			
1 空調配管の更新性					2.0	0.17			
2 給排水管の更新性					2.0	0.17			
3 電気配線の更新性					3.0	0.11			
4 通信配線の更新性					3.0	0.11			
5 設備機器の更新性					3.0	0.22			
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22			
Q-3 室外環境(敷地内)						0.30			2.4
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.40			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性									3.4
LR-1 エネルギー						0.40			4.4
1 建物の熱負荷抑制	W			省エネ等級4を満足している	5.0	0.40			5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20			3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化	W			効率の良い配灯計画としている	4.7	0.40			4.7
4 効率的運用									
4.1 モニタリング	W								
4.2 運用管理体制	W								
LR-2 資源・マテリアル						0.30			2.8
1 水資源保護					1.8	0.15			1.8
1.1 節水	W				1.0	0.60			
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40			
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67			
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33			
2 低環境負荷材					3.0	0.85			3.0
2.1 資源の再利用効率					3.0	0.35			
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67			
2 非構造材料の再利用効率	W				3.0	0.33			
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04			
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08			
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18			
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18			
2.6 フロン・ハロンの回避					3.5	0.18			
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.50			
2 断熱材	W				3.0	0.50			
3 冷媒	W								
LR-3 敷地外環境						0.30			2.5
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10			3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05			3.0
2.1 騒音					3.0	1.00			
2.2 振動									
2.3 悪臭									
3 風害、日照阻害の抑制					1.6	0.10			1.6
3.1 風害の抑制					1.0	0.70			
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30			
4 光害の抑制				光害対策ガイドラインの一部を満たし、且つ、広告塔なし	4.0	0.05			4.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30			1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.40			3.6
6.1 雨水処理負荷抑制	W			設計計画時にて配慮	5.0	0.30			
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10			
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30			
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30			

■ LR-1 用途別点表		集合住宅				面積按分
		5,364 m ²				総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0				5.0
3	設備システムの ERRIによる評価					4.7
	高効率化 個別設備による評価	4.7				
3.1	空調設備					
3.2	換気設備					
3.3	照明設備	5.0				
3.4	給湯設備					
3.5	昇降機設備	3.0				